



## 上手にすくって、たくさん食べたよ

好天に恵まれた 2 日 (土) に、各クラス 20 数名の年中のお父さん方のご協力を得まして、全園児で恒例のソーメン流しを楽しみました。

お父さんには、朝 8 時に登園していただき、直ぐに響流の森で竹取り作業の開始です。一学年が同時に食べるためには、7.5m の真っ直ぐに伸びた竹が必要です。そのためには、10m 近い竹を探さなくてはなりません。これまで何十年と取り続けていますから、真っ直ぐに伸びた竹が取りやすい所がなく、また、切り倒したい竹の先には、蔓がびたりと絡み、少々のことでは離れず、切り倒すことができません。数人の大人の力を合わせて、何とか切り倒しました。

切り取った後は、遊戯室で竹割りです。1~2m の竹なら、鉋で簡単に割れるのですが、なにせ 7.5m の長さがありますから、二人の大人が、両方から金槌で鉋を叩

ても簡単には割れません。悪戦苦闘してやっとの思いで割った竹の節を、今度は、お父さんと年中の子どもたち



による共同作業で取り除きました。みんなの力で、コツコツ叩いて竹の節を落とし、ペーパーで磨きをかけて仕上げました。

後日、あるお父さんが、教頭先生に、「先日の竹取りで、普段使わない筋肉を使ったので、筋肉がこわって大変でした。日頃から鍛えておかなくては」と。(聞こえてきましたよ〜) いよいよ、お父さんたちの手によるソーメン流しです。子どもの中には、まだ、上手く箸を使えない子もいますが、子どもなりに工夫して、ソーメンをすくい、美味しいと言ってたくさん食べて



ました。塗箸やプラスチックの箸よりも竹の箸やフォークの方がすくいやすかったようです。年中のお父さんありがとうございました。

## 大盛会の夏まつり

毎年、企画委員さんのアイデアを基に、楽しい夏まつりが、8 月 19 日 (土) に、沢山の保護者の皆様、卒園児を迎え、賑やかに実施されました。僅か 1 日の祭りですが、この夏まつりを成功させるために、1 学期の早い段階から企画委員さんが準備されました。各催し物会場では、お母さん方を中心に運営され

ましたが、お父さん方も交代して取り組まれる姿に、筑女幼稚園ならではの伝統の重みと保護者の皆様のパワーを感じま



した。クラス数が昨年同様の 8 クラスということで、催し物会場が 9 クラスの時に比べて減っていますが、それぞれの催し物会場は、年少、年中、年長、小学生とハードルを高くしたゲームの工夫がされています。私が見た限りでは、輪投げが、結構、簡単そうに見えますが、子どもたちは、投げ方が難しいのか、苦戦していたようです。しかし、輪投げは、どの年齢層も楽しめていいですね。それぞれのゲームを終えた子どもたちは、景品を受け取り、早速その場で楽しんでいました。

子どもたちは、10 円玉が入った素敵なポシットを大事に首から下げ、とても可愛らしかったですね。ポシットにも、お家の方の工夫が見られました。

らいおん組のお父さんによるソーセージ販売も数年の積み重ねによる先輩方の伝授と 8 月 5 日 (土) の事前の練習により、大変好評でした。お父さん方も閉店時刻が早まったために、昨年以上に売り込みが熱が入り、お陰で、完売できたようです。

中高のグラウンドに移動しての盆踊りは、休み前の練習の成果が発揮され、皆、可愛らしく踊っていました。そんな我が子のシャッターチャンスに保護者の皆様も見逃さず、パチリ、パチリ。子どもたちの浴衣姿。熱中症を心配しましたが、年に 1 度の盆踊りです。やはり幼稚園の夏の風物詩でした。いつもと違った衣装もとってもいいものですね。

